

南郷保育園

日時：平成 18 年 9 月 1 2 日 (火) 13:00 ~ 17:00

平成 18 年 9 月 1 5 日 (金) 9:00 ~ 17:00

場所：大津市南郷二丁目 4 7 - 7

訪れた裏山は、小高いところに原っぱがあり、栗の木や柿の木などが植わっていて、コオロギやバッタなどの虫が多くいました。そこから森の中に入るとさまざまな植物が生い茂っていました。そんな里山の生きものを活かしたプログラムができました。

「葉っぱのしんけいすいじゃく」のプログラム

大好きな葉っぱを見つけたり、同じ葉っぱを探したりするあそびをしながら、葉っぱにはさまざまな形・色・におい・大きさがあることに気づきます。採ってきた葉っぱを土に還し、落ち葉にも大切な役割があることを学びます。



これじゃない
ね、こっちの
葉っぱだね。



ふわふわな
感じがする
から触って
みて。

里山の土は園庭の土と
違って茶色くて葉っぱの
栄養がつまっていた。
葉っぱは虫の餌や、
土になり木の栄養になる
ことがわかりました。



葉っぱの裏
と表がちが
っている



ヤツデっ
ていうん
や。



落ち葉が
土になる
んや。

「虫とり大会 鳴く虫は・・・」のプログラム

虫捕りゲームをした後、採った虫を観察したり、図鑑で調べたりします。また虫がいつ鳴くのか、どんな声で鳴くのかを、虫かごに黒い布をかけて試してみました。生きものの不思議さや命の大切さを知るプログラムです。



コオロギ見
つけたで！



イナゴがい
るよ。そっ
とな。

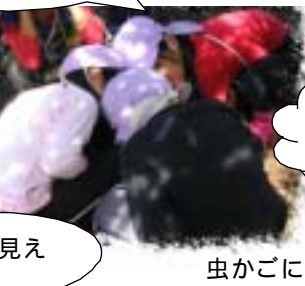


土の中にミミ
ズがいたで。

はじめてコオロ
ギの声聞いた。



虫のお腹が見え
るよ。



虫さんありが
とう。またね。



虫かごに黒い布をかぶせて、
夜と同じ状態にしました。

「葉っぱでワクワクペったんこ」のプログラム

グループごとに集めてきた葉っぱをスタンプにしたり、貼り合わせたりして1枚の絵を作ります。葉っぱを工夫して使うことで、いろいろな種類の葉っぱがあることに気づくプログラムです。



こっちに
たくさん
葉っぱが
あるよ。



大きな葉っぱ見
つけてきたよ。



いろんな葉っぱが集
まったね。

しまっち、つく
ろう。



し
ま
ち



トンボのまわり
はお花にしよう。



トンボの完成。

参加された先生の 声

日常生活でこんなに葉っぱをじっくり見ることがない。図鑑で葉っぱの名前を探し当てたり、ルーペを使って肉眼では見えない様子を発見したときの子どもたちの喜びようが印象的で、観察することの大切さがよくわかった。

葉っぱあそびから自然の循環を、虫捕りから命の大切さを、それぞれの自然体験からメッセージを伝えていくことが大事だと学んだ。

虫を捕れない子どももいたが、互いに役割を分担したり、協力し合ったりする姿があった。支援者の働きかけ一つで、子どもたちの行動が積極的になったり、集中したりすることがわかった。

怖くて虫を捕りをためらっていた子が、最後には大物をつまえた。その子にとって今日は“すごい一日”になったことだろう。

「葉っぱのしんけいすいじゃく」の後で「葉っぱでワクワクペったんこ」を行ったが、子どもたちの行動範囲や探すものにこだわりができるなど活動に深まりがみられた。

Q & A

(解答: 講師 島川武治(しまっち))

Q: 子どもが生きものを持って帰りたと言ったとき、どうように対応すればよいのか?

A: 年長児ならばどうしたらいいか考える力を持っているので、「どうしようか」と子どもと一緒に考えることが望ましい。虫を持って帰る(=飼う)ためには、何が必要か。何を食べているのか? 飼いは知っているのか? それができるなら持ち帰ってもよいでしょう。年中児、年少児は園の方針を決めて、先生によって違う言葉をかけないようにしましょう。